



国際ロータリー 第 2500 地区

釧路ロータリークラブ

2022-2023 年度

ク ラ ブ 活 動 計 画 書

(委員会活動計画)



イマジン
ロータリー

会 長 滝 越 康 雄

幹 事 中 島 徳 政

クラブ運営委員会

委員長 佐藤 貴之

副委員長 浅野 清貴

クラブ運営委員会は、主に例会プログラムの運営を担う委員会組織となっており、プログラム委員会、親睦活動委員会、出席委員会の3つの委員会で構成されています。

今年度のロータリー活動に於いて私達が「友情、愛情、熱意」のある行動をすることで、滝越会長の基本方針である「創り出そう身近な奉仕を 友情、愛情 そして熱意で」が実践できるよう運営して参ります。

まだまだ、コロナ禍の影響が残る中での活動ではありますが、新しい仲間が増やせるように楽しく参加できる親睦活動と、例会プログラムの充実を目指していきたくと思います。

皆様には、ご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

【出席委員会】

委員長 須藤 隆昭

副委員長 池田いずみ

委員 青田 敏治 齊藤 史行

委員 浅川 正紳 竹村 康治

今年度の出席委員会では、滝越会長のテーマ「創り出そう身近な奉仕を 友情、愛情 そして熱意で」をもとに、歴史と伝統のある釧路ロータリークラブの例会に数多く参加する意味をもう一度考え、今年度の活動を活発に進めたいと思います。

そのために佐藤貴之クラブ運営委員長の指導のもと出席委員会の各メンバーと協力しながら、例会に一人でも多くの会員に参加して頂けるようにし、出席率の向上を目指します。

- 1.客委員会と連携・協力して例会及び様々な活動への出席を促します。
- 2.定期的な出席報告と半期ごとの各会員累計出席率の掲示・通知を行い出席意識の向上を目指します。
- 3.他クラブの例会へ参加する「メイクアップ体験会」を実施し、他クラブとの交流も深め

て、メイクアップの利用につなげます。

4.出生率を高めることで、地域や会員同士への奉仕と友情を高めます。

5.出席率 100%の会員を出席優秀者として記念品を贈呈します。

【親睦活動委員会】

委員長	横田	英喜		
副委員長	石井	孝行	木下	正明
	伊藤	淳	北畑	和博
	工藤	彦夫	甲賀	伸彦
委員	佐藤	茂良	柴崎	主税
	高橋	徹次	中村	司
	藤井	敬亮	増田	牧

当委員会では、滝越会長が掲げるスローガン「創り出そう身近な奉仕を 友情、愛情 そして熱意で」を踏まえ、各種事業を愛情と熱意をもって取り組み、会員相互の語り合い、学びあい、信頼を深めるよう、また新しい仲間との笑顔の絶えない友情が芽生えるよう、そして会員とその家族との交流を深め、ロータリー活動が有意義なものとなるよう努めてまいります。

会員皆様のご理解とご協力、そして積極的なご参加を心よりお願い申し上げます。

事業実施計画

1.クラブ来訪者への取り組み

SAAと協力し歓迎の意をもって来訪者を迎え、道外からの来訪者にバナーを贈呈します。

2.例会会場の座席配列

より多くの会員と交流が図れるように座席配列を工夫します。

3.記念品の贈呈

誕生日等のお祝いに記念品を贈呈します。

4.年間行事予定

- 1) 納涼ビアパーティー
- 2) 野遊会
- 3) 新入会員歓迎会
- 4) 年末クリスマス家族会

- 5) 新年交礼会
- 6) キャンドルパーティ
- 7) その他、親睦、懇親に関する行事

5.ニコニコ献金について

定められた目標額達成に努めてまいります。
会員の皆様のご協力をお願いいたします。

【プログラム委員会】

委員長	村上 祐二
副委員長	小野寺 俊
	青木 泰憲 伊貝 正志
委員	五十嵐正弘 下川部知洋
	土橋 賢一 二宮 拓人
	米倉 幸泰

プログラム委員会では、滝越会長のテーマのもと、より多くの会員の皆様が例会に出席していただけるよう、充実した例会プログラムの構築に努めて参ります。

また、国際情勢や感染症を乗り越えたところにある活動的なロータリーになることを目指す一年となるよう、委員会メンバー一丸となり活発な委員会運営を行います。

活動の要点

- 1.地域社会の理解を深める
- 2.ロータリークラブへの理解を深める
- 3.会員相互の理解を深める
- 4.活発な委員会運営に努める

クラブ会報・会員組織委員会

委員長 及川 雅順

副委員長 川合 隆俊

今年度、クラブ会報・会員組織委員会では、2022～2023年度 国際ロータリー ジェニファー・E・ジョーンズ会長の、「イマジンロータリー」また久木佐知子ガバナーの地区スローガンである「ともに紡ごう！ロータリーの未来へ」を踏まえ、滝越会長のテーマ「創り出そう身近な奉仕を 友情、愛情 そして熱意で」をもとに、今年度の活動目標を掲げたいと思います。

クラブ会報・雑誌委員会は、ロータリー会員はもとより、地域の方々にも、わかりやすく情報を発信しロータリー活動を広めたいと思います。

会員増強・選考・職業分類委員会は他の委員会と協力し新入会員の増強または退会防止を図る活動を支えてまいります。

会員皆様のご支援とご協力の程をよろしくお願いいたします。

【クラブ会報・雑誌委員会】

委員長 小野 正晴

副委員長 関向 一

小西 卓哉 高橋 直人

委 員 樋口 貴広 山原 活志

菅原 顯史 得地 哉

松井 聖治

2022-2023年度、釧路ロータリークラブの滝越康雄会長は、「創り出そう身近な奉仕を 友情、愛情、 そして熱意で」をクラブスローガンに掲げています。国際情勢や感染症を乗り越えたところにある、活動的なロータリーを取り戻すことを目指し、日々の穏やかで充実したロータリーを実現する為に、会員のクラブに対する、友情、愛情をさらに高め、熱意をもって活動しようという滝越会長の思いが盛り込まれています。

新型コロナウイルス感染症は、収束の気配が見えず、釧路地域の新規感染者数も高止まり

の状況が続く中で、それぞれの事情で、例会に参加できない方々もいると思います。そうした中でも、例会での親睦を深め、研鑽を積んでいる状況を、出席できなかった会員の方々、他クラブの方々を始め、広く情報発信をしていくために、当委員会では、以下の実施要領に掲げる活動に注力し参りたいと思っております。

本年度、創立86周年となるなど歴史と伝統のあり、先輩方から受け継がれてきた釧路ロータリークラブの活動を、滝越会長のもとで盛り上げ、地域で存在感を示すとともに、新入会員が増加するよう次世代に向けた活動を目指して参りたいと思っております。

皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

【実施要領】

- 1.ホームページでの例会報告
- 2.ホームページでの例会や委員会活動の紹介
- 3.ホームページの管理・更新・運営
- 4.新たな情報発信方法についての調査、研究、実施
- 5.「ロータリーの友」購読への一層の推進

【会員増強・選考・職業分類委員会】

委員長	吉田 秀俊		
副委員長	市橋多佳丞		
委員	織田 亨	木村 豊年	
	栗林 延次	登坂 康弘	

2022～2023年度 国際ロータリー ジェニファー・E・ジョーンズ会長は「イメージンロータリー」というテーマを掲げ、国際ロータリー第2500地区 久木佐知子ガバナーは「ともに紡ごう！ ロータリーの未来へ」というスローガンを掲げております。

これらを踏まえ滝越会長は「創り出そう身近な奉仕を 友情、愛情 そして熱意で」というクラブスローガンを掲げ、感染症の蔓延や世界情勢の悪化を乗り越えたところにある、活動的なロータリーを取り戻す事を目指しております。

当委員会としては滝越会長の思いをサポートするため、多くの皆様の協力を得ながら会員拡大に尽力し、併せて退会防止にも注力した上で、純増5%（5名）の会員増を目指します。会員拡大並びに退会防止にあたっては友情・愛情（友愛の精神）そして熱意をもって取り組んでまいります。

当クラブが活動的なロータリーを取り戻すためにも会員の維持・拡大は必要不可欠なテーマであると考えておりますので、皆様のご支援・ご協力を宜しくお願い致します。

【クラブ研修委員会】

委員長 天方 智順
副委員長 舟木 博
委員 杉村 莊平

当委員会は会員がロータリーへの一層の理解を深めるために、かつての情報委員会が名称を変更した経緯があります。歴史と伝統ある当クラブのことを、すべての会員が正しく理解し、日々のロータリーライフへの糧となるよう、友情、愛情、そして熱意をもって以下に挙げる活動をしてまいります。

- 1.すべての新入会員に、入会時オリエンテーションを実施し、ロータリーの歴史、組織、目的、会員としての義務をわかりやすく説明し、理解を深めていただくよう努めます。
- 2.新入会員歓迎会を（上期、下期、各1回）を親睦活動委員会と連携し開催します。
- 3.情報集会（炉辺会合）を上期、下期、を各1回開催します。会員同士が少人数で決まったテーマについて自由に語り合い、相互理解を深めていただく貴重な時間になるように努めます。
- 4.クラブ研修リーダーと密に連携し、すべての会員にとって有益な知識を提供できるようなクラブ研修セミナーを開催します。
- 5.会員の皆様に、例会、セミナー、クラブ内の各会合、地区大会、IM 等への参加意義をわかりやすく周知し、多くのメンバーで積極的に参加できるよう促します。

奉仕プロジェクト委員会

委員長 吉田 英一

副委員長 前田 秀幸

ジェニファーE・ジョーンズ国際ロータリー会長は「イマジン ロータリー / Imagine Rotary」というテーマを、久木佐和子ガバナーは「ともに紡ごう！ロータリーの未来へ」というスローガンを掲げております。これらを理解し、当クラブ滝越会長の「創り出そう身近な奉仕を 友情、愛情 そして熱意で」の実践に向け、歴史と伝統を大切にしながら奉仕プロジェクト委員会であります四つの委員会と共に活動に取り組んでまいります。

ロータリーを成長させるために、奉仕とプロジェクトのインパクトを高め、地域社会におけるロータリーの認知度と理解度を高めることを意識して1年間活動をして参ります。

【社会奉仕委員会】

委員長 岩田 信一

副委員長 黒田 恒史

委員 尾越 弘典 濱谷美津男

当委員会は、「超私の奉仕」を旨に、日々の穏やかで充実したロータリーを実践する為に、友情、愛情をさらに高め、熱意をもって地域社会に貢献する為の活動を行ってまいります。

そして、今現在のコロナ禍の時代に向き合いながら、地域社会が必要としている活動を模索し、健全で持続的に発展していけるような身近な社会奉仕活動を一年間実践して参ります。

【職業奉仕委員会】

委員長 曾我部元親

副委員長 田内 康章

委員 久島 貞一 栗林 定正
林 英樹

今年度、職業奉仕委員会では、RI会長のテーマである「イマジンローターリー」と久木

ガバナーのスローガンである「ともに紡ごう！ロータリーの未来へ！」を理解した上で、滝越会長のスローガンである「創り出そう身近な奉仕を、友情、愛情、そして熱意で！」の実践に向けて委員会活動を行って参ります。

恒例となっております「職場訪問」に置きますは「熱意を持って未来に挑戦している企業」を訪問先とし、沢山の熱意と多くの学びが得られるよう取り組んで参りますので、会員皆様のご支援・ご協力の程、宜しくお願いします。

【国際奉仕委員会】

委員長	水口	喜文		
副委員長	伊原	明		
委員	吹谷	浩康	谷川	富成
	山田	浩司	吉田	潤司

ジェニファーE・ジョーンズ国際ロータリー会長は「イメージロータリー」をテーマに、「私たちがベストを尽くせる世界を想像してください」と呼びかけました。そして当クラブ滝越会長も「創り出そう身近な奉仕を 友情、愛情 そして熱意で」とスローガンを掲げております。これらの方針を念頭に置き国際奉仕事業を実践していきます。

まだまだ、新型コロナウイルスによる行動制限の全面解除が見通せない状況ですが、過去の国際奉仕事業を検証し今後何ができるかを考察して参りたいと思います。

会員皆様のご協力をお願いいたします。

1. 台北中央 RC との交流窓口としての活動
2. 過去の国際奉仕事業の検証を行い、今後の活動の環境整備を行う
3. 各クラブの国際奉仕に関する活動状況などを調査し今後の事業活動について考察する

【青少年奉仕委員会】

委員長	東堂	光春		
副委員長	田中	弘明		
委員	石田	博司	大道	光肇
	齋藤	浩記	瀧波	大亮

我々青少年奉仕委員会は、本年のRI会長のテーマである「イマジン ロータリー」そして滝越会長の掲げられた釧路ロータリークラブの本年度のクラブスローガン『創り出そう身近な奉仕を 友情、愛情 そして熱意で』を基に、まさに釧路地域の未来の発展のために必要不可欠な次世代の 青少年の育成を目的とし、健全な心と身体の成長を図る活動を愛情と熱意をもって、一年間活動して参ります。

新型コロナの影響により、さまざま行事や活動が中止や制限を余儀なくされる状況の中ですが、
青少年奉仕のためにできることから身近な奉仕を創り出すべく、更なる会員の皆様のご指導・ご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。

(活動内容)

1. 全道中学親善硬式野球大会の開催に協力（7月30日～31日予定 分区事業）
2. RYLAセミナーへの参加（9月11日～12日予定 紋別市 2社2名程度派遣）
3. ロータリーカップ・ひがし北海道アイスホッケー大会の開催（10月）
4. ローターアクトクラブ・インターアクトクラブとの交流事業

ロータリー財団・奨学推進委員会

委員長 米本 富夫

副委員長 森村 好幸

昨年2020年~2021年度は、世界的に急速なパンデミックを引き起こした新型コロナウイルスにより、ロータリー活動も色々と制限を受けてまいりました。それらを踏まえあらためて我々ロータリーの役割を再認識し、今迄以上にこの地域から求められる団体でなくてはならないと思います。

本年度、当委員会は「ロータリー財団寄付推進委員会」「米山記念奨学会委員会」「嵯峨記念育英会委員会」の三委員会で構成されております。米山月間、ロータリー財団月間を通じて、財団並びに奨学会の意義やあり方を理解して頂ける様な活動を進めて参ります。

また嵯峨育英会についても、なゆたの会などと協力して頂きながら、安定的に活動できるよう資金の確保にも努めて参ります。

会長方針の『創り出そう身近な奉仕を、友情愛情そして熱意で』のスローガンのもと熱い気持ちを持ち、これまで築き上げてきた多くの伝統をしっかりと受け継ぎながら一年間活動して参ります。会員の皆様のご理解とご協力のほど、よろしくお願い致します。

【ロータリー財団寄付推進委員会】

委員長 梁瀬 之弘

副委員長 白崎 義章

委員 清水 幸彦 有馬流太郎

委員 吉田 容広

今年度、ロータリー財団・寄付推進委員会では歴史と伝統のある釧路ロータリークラブがこれまで以上に魅力あるクラブとなるように積極的に行動して参ります。

ロータリー財団月間などにおいて、財団の重要性を発信し理解を深めると共に、その使命をメンバー各位により知っていただけるように、以下の項目について重点をおき活動して参ります。

1.ロータリー財団への理解と寄付の推進

2.ロータリー財団認証ポイントの理解と利用推進

3.ポールハリスフェロー認証受領者の増強

【米山記念奨学会委員会】

委員長	荒井	剛
副委員長	柿田	英樹
委員	泉	敬
	伊藤	邦彦
	田中	正己

米山記念奨学会とは、日本に在留している外国人留学生に対し、日本全国のロータリアンの寄付金を財源として、奨学金を支給して支援する民間の奨学団体です。2021学年度の奨学生数は910人、事業費は14億5000万円と、外国人留学生を対象とする民間奨学会では国内最大規模です。同奨学会のシンボルマークである重なり合うハートは「ロータリアン」と「奨学生」を表しており、外国人留学生の支援・交流を通じ、国を超えた絆や信頼関係を築き、世界の平和を願う「心」を育てるという、事業創設の願いが込められています。

「創り出そう身近な奉仕を友情、愛情、そして熱意で」という会長方針はまさに同事業の目的に適った内容となっております。

将来、母国と日本との懸け橋となり、国際社会で活躍する優秀な留学生を奨学することを目的としています。当財団の目的・活動内容等について推進月間をとおして、ご理解を深めていただけるよう活動してまいります。

1.米山チャリティーコンペをなゆたの会との協力を通して、共同開催し、米山記念奨学会への寄付と理解と推進を図ります。

2.米山功労者の増加を目的に、特別寄付金への協力をお願いする。

3.米山カウンセラーと協力して、奨学生の活動を支援します。

以上

【嵯峨記念育英会委員会】

委員長 川本 和之
副委員長 池田 一己
委員 小船井修一 西村 智久
羽田野貴志

当委員会は、釧路ロータリーが独自の育英会として長年にわたって運営発展に尽力している、公益財団法人嵯峨記念育英会を支援する委員会です。

本年度も、クラブ内の脈々と受け継がれてきた、青少年への育英事業の推進と発展に努め、活動してまいります。

- 1.本年度新しく奨学生になった、新高校生一年生を5月例会に招待し祝福及び激励する。
- 2.来春卒業を迎える奨学生を3月例会に招待し、卒業後の進路やこれから歩む人生の抱負を語っていただき、記念品を贈呈するとともに祝福および激励する。
- 3.今後の事業継続と発展のため財源確保を計るべく、会員の理解と協力をお願いし推進する。

S.A.A.

S.A.A. 脇 弘幸
副S.A.A. 浅川 正紳

本年度、会長基本方針のもとS.A.A.として、例会をはじめとする会合が明るく楽しい雰囲気の中にも秩序正しく運営されるよう常に心を配るとともにクラブの気品と風紀を守り、会合がその使命を発揮できるように務めて参ります。

- 1.例会は時間厳守のもと開会し円滑に進行するよう、各委員会と協力して努めます。
- 2.クラブ来訪のお客様を歓迎し、例会中は気持ちよくお過ごし頂けるよう努めます。
- 3.新会員がより多くの会員と早く知り合い、気軽に出席できるような雰囲気づくりを心がけます。